

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		陣ヶ岡線（循環系統）	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程（km）
三国駅	雄島小学校・浜地	三国駅	12.8
運賃体系		対距離制（初乗り 170 円、最大 620 円）	

2. 当該路線に係る指標

年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数（回）（a）	1,464	1,464	1,460	848
年間利用者数（人）（b）	54,298	52,284	35,040	1,270
平均利用者数（人）（b/a）	37.0	35.7	24.0	1.4
国庫補助額（千円）	0	0	0	0
市町補助額（委託額）（千円）	3,131	2,563	4,340	3,523

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	坂井市の三国町雄島地区を運行する路線であった。
③当該路線の必要性	令和5年1月から運行を開始した「オンデマンド型交通」で十分に補完することが可能なため、役割を終えた当路線については廃止とした。（～令和5年4月30日）

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
三国川西線	京福バス	三国駅
鶉三国線	京福バス	三国駅
東尋坊線	京福バス	三国駅

5. 生産性向上に関する取組み

R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	・令和5年1月から運行を開始した「オンデマンド型交通」で十分に補完することが可能なため、役割を終えた当路線については廃止とした。（～令和5年4月30日）
今後の取組みの予定、目標	—

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		陣ヶ岡線	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
三国駅	春日神社	雄島小学校	2.7
運賃体系		対距離制 (初乗り 170 円、最大 220 円)	

2. 当該路線に係る指標

年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数 (回) (a)	274	298	609	353
年間利用者数 (人) (b)	821	2,267	444	0
平均利用者数 (人) (b/a)	2.9	7.6	0.7	0.0
国庫補助額 (千円)	0	0	0	0
市町補助額 (委託額) (千円)	293	260	441	336

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	えちぜん鉄道三国駅から春日神社を経由して、坂井市立雄島小学校へ運行する路線であった。
③当該路線の必要性	令和5年1月から運行を開始した「オンデマンド型交通」で十分に補完することが可能なため、役割を終えた当路線については廃止とした。(～令和5年4月30日)

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
三国川西線	京福バス	三国駅
鶉三国線	京福バス	三国駅
東尋坊線	京福バス	三国駅

5. 生産性向上に関する取組み

R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	・令和5年1月から運行を開始した「オンデマンド型交通」で十分に補完することが可能なため、役割を終えた当路線については廃止とした。(～令和5年4月30日)
今後の取組みの予定、目標	—

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		池見線	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
池見	—	三国南校	9.3
運賃体系		対距離制 (初乗り 170 円、最大 320 円)	

2. 当該路線に係る指標

年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数 (回) (a)	—	—	399	606
年間利用者数 (人) (b)	—	—	10,357	6,484
平均利用者数 (人) (b/a)	—	—	26.0	10.6
国庫補助額 (千円)	—	—	0	0
市町補助額 (委託額) (千円)	—	—	636	1,259

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	坂井市の木部地区と旧三国町を結ぶ路線である。三国南小学校へ通う生徒の利用が多い。
③当該路線の必要性	代替路線がないことから必要な路線であると考えられる。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
なし		

5. 生産性向上に関する取組み

R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	- 坂井市を中心とした公共交通機関を網羅した「坂井市公共交通ハンドブック」の作成 - 坂井市LINE公式アカウントにて路線バス紹介ページの作成
今後の取組みの予定、目標	坂井市WebMapにて路線バスのルート・停留所を掲載し、居住地周辺の路線バスを認識してもらうことで、更なる利用促進を図っていきたい。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		新保米納津線	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
新保	-	三国西小学校前	2.15 11.8
運賃体系		対距離制（初乗り 170 円、最大 250 円）	

2. 当該路線に係る指標

年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数（回） (a)	-	-	595	1,060
年間利用者数（人） (b)	-	-	10,169	10,928
平均利用者数（人） (b/a)	-	-	17.1	10.3
国庫補助額（千円）	-	-	0	0
市町補助額（委託額）（千円）	-	-	318	1,256

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	坂井市の新保・浜四郷地区を運行する路線である。三国西小学校へ通う生徒の利用が多い。
③当該路線の必要性	代替路線がないことから必要な路線であると考えられる。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
なし		

5. 生産性向上に関する取組み

R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	- 坂井市を中心とした公共交通機関を網羅した「坂井市公共交通ハンドブック」の作成 - 坂井市LINE公式アカウントにて路線バス紹介ページの作成
今後の取組みの予定、目標	坂井市WebMapにて路線バスのルート・停留所を掲載し、居住地周辺の路線バスを認識してもらうことで、更なる利用促進を図っていきたい。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		三国坂井ルート（右回り）	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程（km）
三国駅前	いねす	みくに市民センター	34.4
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数（回）（a）	1,523	1,452	1,458	744
年間利用者数（人）（b）	16,256	15,558	13,384	6,898
平均利用者数（人）（b/a）	10.6	10.7	9.2	9.2
国庫補助額（千円）	0	0	0	0
市町補助額（委託額）（千円）	13,150	12,582	12,769	6,483

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	高校に通学する高校生の利用が最も多い路線であった。 また、通勤、通院、買物、娯楽にも利用されており、幅広い層の利用が多い路線であった。
③当該路線の必要性	当路線を基準にルートの再編を行うとともに路線バスへと改編し、令和5年10月1日から「三国丸岡線」ならびに「春江丸岡線」として新たに運行を開始したため、役割を終えた当路線については廃止とした。（～令和5年9月30日）

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
三国川西線	京福バス	三国駅
鶉三国線	京福バス	三国駅
東尋坊線	京福バス	三国駅

5. 生産性向上に関する取組み

R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	- ルートの再編を行うとともに、路線バスへと改編することで、利便性向上を図った。 - 定期乗車券購入支援事業補助金 - 坂井市を中心とした公共交通機関を網羅した「坂井市公共交通ハンドブック」の作成 - 坂井市LINE公式アカウントにて路線バス紹介ページの作成
今後の取組みの予定、目標	—

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		三国坂井ルート（左回り）	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程（km）
三国駅前	いねす	みくに市民センター	33.9
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数（回）（a）	1,458	1,452	1,458	744
年間利用者数（人）（b）	11,862	11,363	9,756	4,225
平均利用者数（人）（b/a）	8.1	7.8	6.7	5.6
国庫補助額（千円）	0	0	0	0
市町補助額（委託額）（千円）	12,266	12,411	12,596	6,395

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	高校に通学する高校生の利用が多い路線であった。 また、通勤、通院、買物、娯楽にも利用されており、幅広い層の利用が多い路線であった。
③当該路線の必要性	当路線を基準にルートの再編を行うとともに路線バスへと改編し、令和5年10月1日から「三国丸岡線」ならびに「春江丸岡線」として新たに運行を開始したため、役割を終えた当路線については廃止とした。（～令和5年9月30日）

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
三国川西線	京福バス	三国駅
鶉三国線	京福バス	三国駅
東尋坊線	京福バス	三国駅

5. 生産性向上に関する取組み

R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	- ルートの再編を行うとともに、路線バスへと改編することで、利便性向上を図った。 - 定期乗車券購入支援事業補助金 - 坂井市を中心とした公共交通機関を網羅した「坂井市公共交通ハンドブック」の作成 - 坂井市LINE公式アカウントにて路線バス紹介ページの作成
今後の取組みの予定、目標	—

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		丸岡春江ルート（右回り）	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程（km）
霞の郷	いねす	丸岡バスターミナル	31.8
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数（回）（a）	1,458	1,452	1,458	744
年間利用者数（人）（b）	9,559	9,177	10,093	5,070
平均利用者数（人）（b/a）	6.5	6.3	6.9	6.8
国庫補助額（千円）	0	0	0	0
市町補助額（委託額）（千円）	12,041	12,472	12,730	6,442

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	市内の交通結節点である春江駅、丸岡駅、いねすに接続するルートであった。 丸岡高校へ通学する高校生の利用が多い路線であった。
③当該路線の必要性	当路線を基準にルートの再編を行うとともに路線バスへと改編し、令和5年10月1日から「三国丸岡線」ならびに「春江丸岡線」として新たに運行を開始したため、役割を終えた当路線については廃止とした。（～令和5年9月30日）

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
丸岡線	京福バス	丸岡バスターミナル
丸岡永平寺線	京福バス	丸岡バスターミナル
芦原丸岡永平寺線・芦原丸岡線	京福バス	丸岡バスターミナル

5. 生産性向上に関する取組み

R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	- ルートの再編を行うとともに、路線バスへと改編することで、利便性向上を図った。 - 定期乗車券購入支援事業補助金 - 坂井市を中心とした公共交通機関を網羅した「坂井市公共交通ハンドブック」の作成 - 坂井市LINE公式アカウントにて路線バス紹介ページの作成
今後の取組みの予定、目標	—

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		丸岡春江ルート（左回り）	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程（km）
霞の郷	いねす	霞の郷	32.0
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数（回）（a）	1,458	1,452	1,458	744
年間利用者数（人）（b）	8,556	8,760	9,556	4,630
平均利用者数（人）（b/a）	5.8	6.0	6.6	6.2
国庫補助額（千円）	0	0	0	0
市町補助額（委託額）（千円）	12,098	12,530	12,790	6,472

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	市内の交通結節点である春江駅、丸岡駅、いねすに接続するルートであった。 丸岡高校へ通学する高校生の利用が多い路線であった。
③当該路線の必要性	当路線を基準にルートの再編を行うとともに路線バスへと改編し、令和5年10月1日から「三国丸岡線」ならびに「春江丸岡線」として新たに運行を開始したため、役割を終えた当路線については廃止とした。（～令和5年9月30日）

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
丸岡線	京福バス	丸岡バスターミナル
丸岡永平寺線	京福バス	丸岡バスターミナル
芦原丸岡永平寺線・芦原丸岡線	京福バス	丸岡バスターミナル

5. 生産性向上に関する取組み

R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	- ルートの再編を行うとともに、路線バスへと改編することで、利便性向上を図った。 - 定期乗車券購入支援事業補助金 - 坂井市を中心とした公共交通機関を網羅した「坂井市公共交通ハンドブック」の作成 - 坂井市LINE公式アカウントにて路線バス紹介ページの作成
今後の取組みの予定、目標	—

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		雄島ルート	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
三国病院	三国駅前	みくに市民センター	17.4
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数 (回) (a)	729	726	729	372
年間利用者数 (人) (b)	2,175	1,851	1,598	844
平均利用者数 (人) (b/a)	2.9	2.5	2.2	2.2
国庫補助額 (千円)	0	0	0	0
市町補助額 (委託額) (千円)	3,151	3,188	3,236	1,643

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	坂井市三国町雄島地区から、えちぜん鉄道三国駅を經由して、坂井市立三国病院およびみくに市民センター（三国支所）に向かう路線であった。 利用者はほぼ10割が高齢者で、三国病院への通院を目的として利用されていた路線であった。
③当該路線の必要性	令和5年1月から運行を開始した「オンデマンド型交通」で十分に補完することが可能なため、役割を終えた当該路線については廃止とした。（～令和5年9月30日）

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
三国川西線	京福バス	三国駅
鶉三国線	京福バス	三国駅
東尋坊線	京福バス	三国駅

5. 生産性向上に関する取組み

R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	・オンデマンド型交通への移行を促すべく周知活動を行った。 ・坂井市を中心とした公共交通機関を網羅した「坂井市公共交通ハンドブック」の作成 ・坂井市LINE公式アカウントにて各公共交通機関の紹介ページの作成 ・令和5年1月から運行を開始した「オンデマンド型交通」で十分に補完することが可能なため、役割を終えた当該路線については廃止とした。（～令和5年9月30日）
今後の取組みの予定、目標	—

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		加戸・三国東部ルート	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
三国病院	三国駅前	三国病院	30.5
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数 (回) (a)	729	726	729	372
年間利用者数 (人) (b)	2,194	2,186	2,330	1,082
平均利用者数 (人) (b/a)	3.0	3.0	3.2	2.9
国庫補助額 (千円)	0	0	0	0
市町補助額 (委託額) (千円)	4,713	4,773	4,721	2,547

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	坂井市三国町加戸地区および三国東部地区から、えちぜん鉄道三国駅を経由して、坂井市立三国病院およびみくに市民センター（三国支所）に向かう路線であった。 利用者はほぼ10割が高齢者で、三国病院への通院を目的として利用されていた路線であった。
③当該路線の必要性	令和5年1月から運行を開始した「オンデマンド型交通」で十分に補完することが可能なため、役割を終えた当路線については廃止とした。（～令和5年9月30日）

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
三国川西線	京福バス	三国駅
鶉三国線	京福バス	三国駅
東尋坊線	京福バス	三国駅

5. 生産性向上に関する取組み

R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	・オンデマンド型交通への移行を促すべく周知活動を行った。 ・坂井市を中心とした公共交通機関を網羅した「坂井市公共交通ハンドブック」の作成 ・坂井市LINE公式アカウントにて各公共交通機関の紹介ページの作成 ・令和5年1月から運行を開始した「オンデマンド型交通」で十分に補完することが可能なため、役割を終えた当路線については廃止とした。（～令和5年9月30日）
今後の取組みの予定、目標	—

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		浜四郷ルート	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
三国病院	三国駅前	三国病院	26.3
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数 (回) (a)	729	726	729	372
年間利用者数 (人) (b)	2,400	2,578	2,438	1,308
平均利用者数 (人) (b/a)	3.2	3.6	3.3	3.5
国庫補助額 (千円)	0	0	0	0
市町補助額 (委託額) (千円)	4,054	4,106	4,061	2,191

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	坂井市三国町浜四郷地区から、えちぜん鉄道三国駅を経由して、坂井市立三国病院およびみくに市民センター（三国支所）に向かう路線であった。 利用者はほぼ10割が高齢者で、三国病院への通院を目的として利用されていた路線であった。
③当該路線の必要性	令和5年1月から運行を開始した「オンデマンド型交通」で十分に補完することが可能なため、役割を終えた当該路線については廃止とした。（～令和5年9月30日）

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
三国川西線	京福バス	三国駅
鶉三国線	京福バス	三国駅
東尋坊線	京福バス	三国駅

5. 生産性向上に関する取組み

R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	・オンデマンド型交通への移行を促すべく周知活動を行った。 ・坂井市を中心とした公共交通機関を網羅した「坂井市公共交通ハンドブック」の作成 ・坂井市LINE公式アカウントにて各公共交通機関の紹介ページの作成 ・令和5年1月から運行を開始した「オンデマンド型交通」で十分に補完することが可能なため、役割を終えた当該路線については廃止とした。（～令和5年9月30日）
今後の取組みの予定、目標	—

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		坂井ルート	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
いねす	坂井市役所	いねす	41.8
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数 (回) (a)	729	726	729	372
年間利用者数 (人) (b)	1,477	1,454	1,249	455
平均利用者数 (人) (b/a)	2.0	2.0	1.7	1.2
国庫補助額 (千円)	0	0	0	0
市町補助額 (委託額) (千円)	6,452	6,534	6,463	3,487

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	坂井市の旧坂井町内の地区を運行する路線であった。 地域交流センターいねすを起点・終点とし、坂井市役所や丸岡駅を経由する路線で、ほとんどの利用者が高齢者の路線であった。
③当該路線の必要性	令和5年1月から運行を開始した「オンデマンド型交通」で十分に補完することが可能なため、役割を終えた当路線については廃止とした。（～令和5年9月30日）

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
なし		

5. 生産性向上に関する取組み

R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	・オンデマンド型交通への移行を促すべく周知活動を行った。 ・坂井市を中心とした公共交通機関を網羅した「坂井市公共交通ハンドブック」の作成 ・坂井市LINE公式アカウントにて各公共交通機関の紹介ページの作成 ・令和5年1月から運行を開始した「オンデマンド型交通」で十分に補完することが可能なため、役割を終えた当路線については廃止とした。（～令和5年9月30日）
今後の取組みの予定、目標	—

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		長畝ルート	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
霞の郷	丸岡バスターミナル	霞の郷	15.5
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数 (回) (a)	729	726	729	372
年間利用者数 (人) (b)	90	418	562	145
平均利用者数 (人) (b/a)	0.1	0.6	0.8	0.3
国庫補助額 (千円)	0	0	0	0
市町補助額 (委託額) (千円)	2,669	2,423	2,397	1,293

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	坂井市の旧丸岡町北部の長畝地区を運行する路線であった。 温泉施設「霞の郷」を起点・終点とし、交通結節である丸岡バスターミナルを経由する路線で、ほとんどの利用者が高齢者の路線であった。
③当該路線の必要性	令和5年1月から運行を開始した「オンデマンド型交通」で十分に補完することが可能なため、役割を終えた当路線については廃止とした。（～令和5年9月30日）

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
丸岡線	京福バス	丸岡バスターミナル
丸岡永平寺線	京福バス	丸岡バスターミナル
芦原丸岡永平寺線・芦原丸岡線	京福バス	丸岡バスターミナル

5. 生産性向上に関する取組み

R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	・オンデマンド型交通への移行を促すべく周知活動を行った。 ・坂井市を中心とした公共交通機関を網羅した「坂井市公共交通ハンドブック」の作成 ・坂井市LINE公式アカウントにて各公共交通機関の紹介ページの作成 ・令和5年1月から運行を開始した「オンデマンド型交通」で十分に補完することが可能なため、役割を終えた当路線については廃止とした。（～令和5年9月30日）
今後の取組みの予定、目標	—

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		高棕中ルート	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
霞の郷	丸岡バスターミナル	霞の郷	21.0
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数 (回) (a)	729	726	729	372
年間利用者数 (人) (b)	869	1,090	1,031	289
平均利用者数 (人) (b/a)	1.1	1.5	1.4	0.7
国庫補助額 (千円)	0	0	0	0
市町補助額 (委託額) (千円)	3,616	3,282	3,247	1,752

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	坂井市の旧丸岡町の高棕地区および磯部地区の一部を運行する路線であった。 温泉施設「霞の郷」を起点・終点とし、交通結節点である丸岡バスターミナルを経由する路線で、ほとんどの利用者が高齢者の路線であった。
③当該路線の必要性	令和5年1月から運行を開始した「オンデマンド型交通」で十分に補完することが可能なため、役割を終えた当路線については廃止とした。（～令和5年9月30日）

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
丸岡線	京福バス	丸岡バスターミナル
丸岡永平寺線	京福バス	丸岡バスターミナル
芦原丸岡永平寺線・芦原丸岡線	京福バス	丸岡バスターミナル

5. 生産性向上に関する取組み

R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	・オンデマンド型交通への移行を促すべく周知活動を行った。 ・坂井市を中心とした公共交通機関を網羅した「坂井市公共交通ハンドブック」の作成 ・坂井市LINE公式アカウントにて各公共交通機関の紹介ページの作成 ・令和5年1月から運行を開始した「オンデマンド型交通」で十分に補完することが可能なため、役割を終えた当路線については廃止とした。（～令和5年9月30日）
今後の取組みの予定、目標	—

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		春江北部東部ルート	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
春江支所	JR春江駅	春江支所	35.1
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数 (回) (a)	729	726	729	372
年間利用者数 (人) (b)	3,134	3,751	3,312	1,594
平均利用者数 (人) (b/a)	4.2	5.2	4.5	4.2
国庫補助額 (千円)	0	0	0	0
市町補助額 (委託額) (千円)	6,454	5,952	6,004	3,188

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	坂井市の旧春江町北部および東部の地区を運行する路線であった。 坂井市役所春江支所を起点・終点とし、春江病院や春江駅を経由する路線で、ほとんどの利用者が高齢者の路線であった。
③当該路線の必要性	令和5年1月から運行を開始した「オンデマンド型交通」で十分に補完することが可能なため、役割を終えた当該路線については廃止とした。（～令和5年9月30日）

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
エンゼルランド線	京福バス	春江病院
運転者教育センター線	京福バス	春江病院

5. 生産性向上に関する取組み

R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	・オンデマンド型交通への移行を促すべく周知活動を行った。 ・坂井市を中心とした公共交通機関を網羅した「坂井市公共交通ハンドブック」の作成 ・坂井市LINE公式アカウントにて各公共交通機関の紹介ページの作成 ・令和5年1月から運行を開始した「オンデマンド型交通」で十分に補完することが可能なため、役割を終えた当該路線については廃止とした。（～令和5年9月30日）
今後の取組みの予定、目標	—

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		春江西部中部ルート	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
春江支所	JR春江駅	春江支所	34.2
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数 (回) (a)	729	726	729	372
年間利用者数 (人) (b)	2,731	2,529	2,784	1,391
平均利用者数 (人) (b/a)	3.7	3.5	3.8	3.7
国庫補助額 (千円)	0	0	0	0
市町補助額 (委託額) (千円)	6,276	5,788	5,839	3,101

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	坂井市の旧春江町中部および西部の地区を運行する路線であった。 坂井市役所春江支所を起点・終点とし、春江病院や春江駅を経由する路線で、ほとんどの利用者が高齢者の路線であった。
③当該路線の必要性	令和5年1月から運行を開始した「オンデマンド型交通」で十分に補完することが可能なため、役割を終えた当路線については廃止とした。（～令和5年9月30日）

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
エンゼルランド線	京福バス	春江病院
運転者教育センター線	京福バス	春江病院

5. 生産性向上に関する取組み

R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	・オンデマンド型交通への移行を促すべく周知活動を行った。 ・坂井市を中心とした公共交通機関を網羅した「坂井市公共交通ハンドブック」の作成 ・坂井市LINE公式アカウントにて各公共交通機関の紹介ページの作成 ・令和5年1月から運行を開始した「オンデマンド型交通」で十分に補完することが可能なため、役割を終えた当路線については廃止とした。（～令和5年9月30日）
今後の取組みの予定、目標	—

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		高棕西ルート	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
霞の郷	丸岡バスターミナル	霞の郷	20.3
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数 (回) (a)	729	726	729	372
年間利用者数 (人) (b)	275	288	278	175
平均利用者数 (人) (b/a)	0.3	0.4	0.4	0.4
国庫補助額 (千円)	0	0	0	0
市町補助額 (委託額) (千円)	3,723	3,433	3,463	1,839

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	坂井市の旧丸岡町の高棕地区、舟寄地区、磯部地区の一部を運行する路線であった。 温泉施設「霞の郷」を起点・終点とし、交通結節点である丸岡バスターミナルを経由する路線で、ほとんどの利用者が高齢者の路線であった。
③当該路線の必要性	令和5年1月から運行を開始した「オンデマンド型交通」で十分に補完することが可能なため、役割を終えた当路線については廃止とした。（～令和5年9月30日）

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
丸岡線	京福バス	丸岡バスターミナル
丸岡永平寺線	京福バス	丸岡バスターミナル
芦原丸岡永平寺線・芦原丸岡線	京福バス	丸岡バスターミナル

5. 生産性向上に関する取組み

R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	・オンデマンド型交通への移行を促すべく周知活動を行った。 ・坂井市を中心とした公共交通機関を網羅した「坂井市公共交通ハンドブック」の作成 ・坂井市LINE公式アカウントにて各公共交通機関の紹介ページの作成 ・令和5年1月から運行を開始した「オンデマンド型交通」で十分に補完することが可能なため、役割を終えた当路線については廃止とした。（～令和5年9月30日）
今後の取組みの予定、目標	—

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		鳴鹿ルート	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
霞の郷	丸岡バスターミナル	霞の郷	23.4
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数 (回) (a)	729	726	729	372
年間利用者数 (人) (b)	672	409	409	255
平均利用者数 (人) (b/a)	0.9	0.6	0.6	0.6
国庫補助額 (千円)	0	0	0	0
市町補助額 (委託額) (千円)	4,298	3,964	3,999	2,124

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	坂井市の旧丸岡町の高椋東部地区および鳴鹿地区を運行する路線であった。 温泉施設「霞の郷」を起点・終点とし、交通結節点である丸岡バスターミナルを経由する路線で、ほとんどの利用者が高齢者の路線であった。
③当該路線の必要性	令和5年1月から運行を開始した「オンデマンド型交通」で十分に補完することが可能なため、役割を終えた当路線については廃止とした。（～令和5年9月30日）

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
丸岡線	京福バス	丸岡バスターミナル
丸岡永平寺線	京福バス	丸岡バスターミナル
芦原丸岡永平寺線・芦原丸岡線	京福バス	丸岡バスターミナル

5. 生産性向上に関する取組み

R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	・オンデマンド型交通への移行を促すべく周知活動を行った。 ・坂井市を中心とした公共交通機関を網羅した「坂井市公共交通ハンドブック」の作成 ・坂井市LINE公式アカウントにて各公共交通機関の紹介ページの作成 ・令和5年1月から運行を開始した「オンデマンド型交通」で十分に補完することが可能なため、役割を終えた当路線については廃止とした。（～令和5年9月30日）
今後の取組みの予定、目標	—

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		木部ルート	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
池見	下兵庫こうふく駅	丸岡駅	9.63
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数 (回) (a)	-	-	-	595
年間利用者数 (人) (b)	-	-	-	106
平均利用者数 (人) (b/a)	-	-	-	0.1
国庫補助額 (千円)	-	-	-	0
市町補助額 (委託額) (千円)	-	-	-	7,051

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	坂井市の旧坂井町の木部地区と丸岡駅を結ぶ路線である。 旧三国町の「池見」を起点・終点とし、下兵庫こうふく駅を経由し丸岡駅まで運行する。 市内高校への通学の際に利用されている。
③当該路線の必要性	利用者は非常に少ないが、当該地区においては朝晩の公共交通手段が無いため、車を持たない学生等の通学手段として必要な路線である。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
丸岡永平寺線	京福バス	丸岡駅

5. 生産性向上に関する取組み

R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	・OD調査の実施。市内高校へのアンケート調査実施。 ・坂井市を中心とした公共交通機関を網羅した「坂井市公共交通ハンドブック」の作成 ・坂井市LINE公式アカウントにて各公共交通機関の紹介ページの作成
今後の取組みの予定、目標	・運行開始して半年が経ったが、当初予定していたよりも利用者数が少ない状況が続いているため、新年度の動向を注視するとともに、各学校へのヒアリング等を実施し、利用者数の増加を図りたい。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		三国運動公園線	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
三国駅	三国病院	三国駅	8.8
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数 (回) (a)	1,446	1,446	1,446	1,470
年間利用者数 (人) (b)	2,034	1,752	1,867	1,448
平均利用者数 (人) (b/a)	1.4	1.2	1.3	0.9
国庫補助額 (千円)	0	0	0	0
市町補助額 (委託額) (千円)	5,302	5,101	5,201	5,265

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	坂井市の旧三国町の三国地区および雄島地区の一部を運行する路線である。えちぜん鉄道三国駅を起点・終点とし、坂井市立三国病院を経由する。利用者のほぼ10割は高齢者であり、えちぜん鉄道三国駅および三国病院の利用がほとんどである。
③当該路線の必要性	令和5年1月から運行を開始した「オンデマンド型交通」で十分に補完することが可能なため、役割を終えた当該路線については廃止とする予定。(～令和6年9月30日)

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
三国川西線	京福バス	三国駅
鶉三国線	京福バス	三国駅
東尋坊線	京福バス	三国駅

5. 生産性向上に関する取組み

R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	・利用実態把握のため、OD調査を実施 ・市のHPを通じて利用促進を呼びかけ ・免許返納者へ無料乗車券を交付 ・オンデマンド型交通への移行を促すべく周知活動を行った。 ・坂井市を中心とした公共交通機関を網羅した「坂井市公共交通ハンドブック」の作成 ・坂井市LINE公式アカウントにて各公共交通機関の紹介ページの作成
今後の取組みの予定、目標	・当該路線は1日6便運行しているものの移動できる範囲が限定的となっているため、より利便性の高い交通手段として、「オンデマンド型交通」への切り替えを予定している。

市町内交通分析シート

1. 路線の概要

市町名		路線名	
坂井市		竹田線	
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)
竹田	丸岡高校	丸岡バスターミナル	14.1
運賃体系		一般200円、小学生・中学生・高校生・65歳以上100円	

2. 当該路線に係る指標

年度	R2	R3	R4	R5
年間運行回数 (回) (a)	3,650	3,650	3,650	3,650
年間利用者数 (人) (b)	8,537	9,396	9,064	9,815
平均利用者数 (人) (b/a)	2.3	2.6	2.5	2.6
国庫補助額 (千円)	0	0	0	0
市町補助額 (委託額) (千円)	8,052	7,237	7,519	7,518

3. 当該路線の必要性

①並行鉄道・バス路線の有無	なし
②利用の状況	坂井市東部の中山間地域である竹田地区から路線バスが接続する丸岡バスターミナルまでを運行する路線である。利用の中心はほぼ高齢者であるが、朝の便においてはスクールバスとして併用運行されている。
③当該路線の必要性	代替の路線はもとより、その他の交通手段がない交通空白地帯である。中山間地域からの唯一の公共交通手段であり、路線バスの広域路線やオンデマンド型交通と接続し、高齢者の日常の交通手段として必要な路線である。また、地区外の小中学校に通うスクールバスとしても必要不可欠である。

4. 接続する広域路線

路線名	運行事業者	接続停留所
丸岡線	京福バス	丸岡バスターミナル
丸岡永平寺線	京福バス	丸岡バスターミナル
芦原丸岡永平寺線・芦原丸岡線	京福バス	丸岡バスターミナル

5. 生産性向上に関する取組み

R5年度に実施した取組みおよびその結果・効果	・利用実態把握のため、OD調査を実施 ・市のHPを通じて利用促進を呼びかけ ・免許返納者へ無料乗車券を交付 ・坂井市を中心とした公共交通機関を網羅した「坂井市公共交通ハンドブック」の作成 ・坂井市LINE公式アカウントにて各公共交通機関の紹介ページの作成
今後の取組みの予定、目標	・現在、竹田地区においては市内唯一オンデマンド型交通が運行していない地区になる。既存路線である竹田線を最大限活かしつつ、更なる利便性向上に向けて地区住民や交通事業者と協議の上、再編も含めた利用促進を図っていききたい。